

一般質問(5)、用語の解説、議会NEWS ①

リレーマラソンについて
市農政、郷土資料室について

小林 たつや (自民)

質問 12月23日に行われるリレーマラソン大会について伺う。

答弁 多摩北部圏域5市の市民のスポーツへの参加機会の提供、健康増進やオリンピック開催に向けた気運醸成を目的として開催する。

質問 市の農政について伺う。

答弁 第2次農業振興計画に基づく施策と国が策定する基本計画との検証を行い、農業の担い手や農地保全等の各課題に取り組む。

意見 農地を残すには、農機具の小屋や作業場がある土地の固定資産税を市長判断で考慮すべきと考える。

質問 西原町の郷土資料室

は、下野谷遺跡などの素晴らしい歴史の遺物等が展示されているが、施設整備や他施設とのコラボレーションについて伺う。

答弁 平成27年度は空調の設置を予定。市の文化財を出前講座のメニューとしたほか、多摩六都科学館や西原自然公園を一つのエリアとして、郷土資料室の利用促進を図っていく。また、6月には多摩六都科学館でミニ企画展が行われた。

意見 遺跡周辺に博物館や資料室をつくるべきと考え。またそこを中心として新たなまちづくりやシティプロモーションを行い、市の魅力アップを図ってほしい。

人口急増地域に交番の誘致を
通学路に防犯カメラで犯罪防止を

遠藤 源太郎 (自民)

質問 新市誕生後、残る課題について市長の抱負は。

答弁 真の健康都市の実現に向けて取り組む。

質問 災害は忘れたころにやってくる。

答弁 市民一人一人の防災意識の向上につなげる。

質問 防犯カメラは犯罪の抑止や解決に有効だ。

答弁 地域の安全対策の強化について調査研究したい。

質問 自転車事故が多発している。安全走行のPRは。

答弁 市報9月15日号の1面を使い、改正された道路交通法をPRする。

質問 市道224号線の改良工事が年度内に終わる。信号機の設置、一方通行の解除

丸山市長は指導力を発揮して
納税者の声を生かせ

浅野 高司 (自民)

質問 合併時、1千354人の職員に対して、平成26年には981人と37人削減した。人口は当時よりも増加している。職員の負担増では。

市長 経費削減ではなく適正配分の視点からの定員管理に転換し、必要な人材確保に取り組む。

質問 がん検診は、胃・肺・大腸・乳・子宮・喉頭・前立腺は無料であるが、行革プランでは、受益者負担の適正化が検討項目にある。検診を有料化するのか。

市長 喉頭・前立腺がん検診の有料化については総合的に判断する。

質問 田無の会たんぼぼで起きた障害者への暴力事件

について市の対応は。

市長 東京都と連動して適正に対処する。

質問 5月に空き家特措法が全面施行されたが、市民からの相談件数は。また、組織体制の状況は。

市長 施行後、苦情・相談は17件あった。組織体制、予算措置は、検討を進める。

質問 職員昇任制度は、市民サービス・組織力の向上を目指すものと解しているが、課長補佐は今までの経験年数2年から1年で昇格できる。質の低下になるのでは。

市長 副市長、部長が講師となり、実践的な研修等を実施している。

用語の解説

***WiFi(ワイファイ)**
無線でネットワークに接続する技術。

***KDB(国保データベースシステム)**
国保保険者や後期高齢者医療広域連合における保健事業の計画の作成や実施を支援するため、国保連合会が「健診・保健指導」「医療」「介護」の各種データを活用して、統計情報・個人の健康に関するデータを作成するシステム。

***地震ブレイカー**

地震計で検知した地震信号が設定した値を超えたときに、配線用ブレイカー、または漏電ブレイカー等を遮断する信号を出すことで電気を自動遮断する機器システム。

***トワイライトステイ**

保護者が仕事などの理由により平日の夜間または休日不在となり、家庭において児童を養育することが困難な場合などに、児童養護施設、母子生活支援施設、乳児院、保育所などにおいて預かる制度。

***SNS(ソーシャルネットワークサービス)**

インターネット上で人と人とのつながりを促進・支援する会員制サービス。代表的なものとして、Twitter(ツイッター)やFacebook(フェイスブック)などがある。

***リーサス(地域経済分析システム)**

内閣官房及び経済産業省が提供する産業構造や人口動態、人の流れなどに関する官民のビッグデータを集約し可視化するシステム。

議会 NEWS ①

市議会では採択された請願・陳情については、市長や教育長に送付され、その後の検討経過を市議会に報告することとなっています。ここでは平成26年中に採択または趣旨採択された6件のうち、4件について市からの報告をお知らせします。その他2件については、議会だより第65号(平成27年5月15日発行)に掲載しています。

採択された陳情への市の対応

件名	採択年月	陳情事項	市の検討結果	理由
5階建てマンション建設反対、計画変更を求める陳情	平成26年3月28日趣旨採択	東町2丁目建設される5階建てマンションについて、「西東京市人にやさしいまちづくり条例」に定める開発のあり方から逸脱するとして、マンションの建設反対、計画変更を求めるもの。	マンション建設については、西東京市人にやさしいまちづくり条例の適用を受ける開発事業であることから、近隣住民に対して、丁寧な説明を行うよう事業者に要請いたします。	西東京市人にやさしいまちづくり条例において、人にやさしいまちづくりは、市民が安心して安全に暮らせるまちを実現するため、市民、事業者及び市の相互の信頼の下に、協働により行うものとして、基本理念が定められております。このため、事業者から近隣住民に対して更に丁寧な説明が必要と考えられます。
精神障害者が親亡き後も安心して暮らせるために滞在型のグループホーム・ケアホームの整備を求める陳情	平成26年9月17日趣旨採択	精神障害者が住み慣れた地域で安心して生活するために滞在型のグループホーム・ケアホームの整備と精神疾患や精神障害者に対する理解の促進、普及啓発を求めるもの。	市内におけるグループホーム整備を進めるため、引き続き、情報提供等の支援を積極的に行ってまいります。その中で、精神障害者対象のグループホームについては、滞在型グループホームを拡充できるよう、民間事業者に対し、積極的に働きかけてまいります。	西東京市障害者基本計画(平成26年度～平成35年度)で、次のとおり位置付けております。「何らかの支援を必要とする障害者が少数で居住する形態であるグループホーム等は、障害のある人の地域生活支援の社会資源として重要であり、民間法人による新規参入を誘致するため、情報提供等の支援を積極的に行ってまいります。なお、精神障害者のグループホームについては、通過型だけではなく滞在型の充実についても検討します。」
谷戸新道の西武バス停に屋根とベンチの設置を市として、西武バスに要望することに関する陳情	平成26年9月17日採択	「谷戸新道の西武バス停に屋根とベンチの設置」を実現するために、西東京市から西武バスに市民からの要望の提出を求めるもの。	市内のバス停については、バス事業者に対し、上屋及びベンチの設置に可能な限り配慮いただけるよう文書により要望しました。	西東京市交通計画の中で、誰もが便利に移動できる安全・安心な交通まちづくりを基本理念とし、今後取り組むべき交通施策の一つとして、バス交通の利便性の向上を目指すこととしております。
集中豪雨による道路冠水の解消に関する陳情	平成26年12月1日趣旨採択	田無第二中学校校庭から流出する雨水による北原町1丁目36番19号から25号、同37番11号から15号、及び同38番22号から24号に挟まれた私道、延長約80m区間の道路冠水の解消を速やかに進めるよう求めるもの。	学校校庭から周辺道路への雨水流出については、教育委員会への流出抑制対策について引き続き協力を要請しました。	当該地域では、平成16年3月に陳情第5号として「集中豪雨等による道路の冠水災害の解消に関する陳情」として提出され採択となっております。その後、平成17年度～平成18年度にかけて対策を実施しておりますが、近年の異常気象における集中豪雨により学校校庭からの雨水流出による道路冠水が発生しました。そのため、今年度既に教育委員会において一定の対応を行っておりますが、学校校庭からの雨水流出抑制については、引き続き経過観察を行い必要に応じた対応が求められております。